

2015年4月7日

鎌倉市長

松尾 崇 殿

日本図書館文化史研究会

代表 小田 光宏

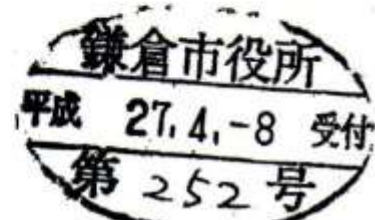


旧鎌倉図書館の保存について（要望）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃の文化、教育面におけるご尽力に対し深い敬意を表します。

私ども日本図書館文化史研究会は、図書館の歴史に関心を持つ関係者で構成される学術団体です。この度私ども日本図書館文化史研究会は、図書館文化について研究を行っている立場から、旧鎌倉図書館を古都鎌倉の歴史的建造物の一つとして保存し、市民共有の財産として活用されるよう要望致します。

旧鎌倉図書館は、鎌倉在住の実業家・間島弟彦氏の寄付によって1936年に建設されました。隣接する御成小学校旧講堂とともに、特徴ある町並み景観を形成している歴史



的な建造物です。市民に支えられ、市民とともに歩んできた旧図書館は、近代鎌倉の足跡を目に見える形で示す貴重な遺産といえます。

世界遺産登録をめざし「歴史まちづくり」をかかげる鎌倉市が、このような歴史的建造物を市庁舎の建設計画のために取り壊そうとしていることは、図書館文化の歴史を研究し、文化財の保存を願う私たちにとって誠に遺憾なことであります。是非とも再検討をお願いします。

また、今回の計画は、近年全国的に広がっている図書館等の文化財的意義を有する建造物保存の動きに逆行するものであります。例えば、昨年9月に神戸女学院大学図書館本館（1931年竣工）が国の重要文化財として指定されました。公共図書館では、大阪府立中之島図書館の本館（1904年）と左翼・右翼（1922年）が、1974年に重要文化財に指定されております。もし仮に、旧鎌倉図書館が耐震性などの問題で取り壊さざるを得ないのならば、江東区教育委員会が旧東京市立深川図書館解体の際に実施したような学術調査を行い、その記録を残すべきと考えます。

日本図書館文化史研究会は、3月28日に千代田区立千代田図書館で開催されました運営委員会において、この問題について真剣に討議した結果、旧鎌倉図書館の解体を取りやめ、その保存・活用について市民をまじえて再度議論するよう、貴職に要望することにした次第です。日本を代表する古都鎌倉市が、悔いを千載に残すことにならないためにも、取り壊しをご再考下さいますよう、お願い申し上げます。

敬 白

通知人

〒248-8686 神奈川県鎌倉市御成町 18-10 鎌倉区役所

鎌倉市長 松尾 崇 殿

差出人

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学司書・司書教諭課程室気付

日本図書館文化史研究会 代表 小田 光宏

この郵便物は平成27年4月7日第15431号
書留内容証明郵便物として差し出したことを証明します。
日本郵便株式会社

